

会 議 録

会議の名称	第1回行田市・羽生市 一般廃棄物処理施設の共同整備に関する協議会									
開催日時	令和3年7月9日（金） 開会：午前10時00分 ・ 閉会：午前10時48分									
開催場所	行田市役所 305会議室									
出席者（委員） 氏 名	<table border="0"> <tr> <td>（行田市）</td> <td>（羽生市）</td> </tr> <tr> <td>石井市長（会長）</td> <td>河田市長（副会長）</td> </tr> <tr> <td>石川副市長</td> <td>甲山副市長</td> </tr> <tr> <td>江森環境経済部長</td> <td>小磯経済環境部長</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上6名</p>		（行田市）	（羽生市）	石井市長（会長）	河田市長（副会長）	石川副市長	甲山副市長	江森環境経済部長	小磯経済環境部長
（行田市）	（羽生市）									
石井市長（会長）	河田市長（副会長）									
石川副市長	甲山副市長									
江森環境経済部長	小磯経済環境部長									
欠席者（委員） 氏 名	なし									
事務局	行田市環境経済部環境課 新ごみ処理施設建設準備グループ 金子副参事 寺田主査									
会議内容	<p>確認事項</p> <p>1 協議会の運営について</p> <p>協議事項</p> <p>1 事業実施主体について</p> <p>2 事業全体スケジュールについて</p> <p>3 共同処理事務について</p> <p>4 経費の負担割合について</p>									
会議資料	<p>次第</p> <p>協議会規約</p> <p>委員名簿</p> <p>資料1 協議会の運営について（確認事項）</p> <p>資料2 協議事項1～4</p> <p>資料3 ごみ処理業務に係る県内一部事務組合の状況一覧</p>									
その他必要 事項	傍聴人 29名									
会議録の 確定	確定年月日	主宰者氏名								
	令和3年7月29日	石井直彦								

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>事務局 石井議長 各委員</p> <p>事務局 石井議長</p> <p>江森委員</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ（石井市長、河田市長）</p> <p>3. 委員紹介</p> <p>4. 議題</p> <p>（1）確認事項</p> <p>①協議会の運営について（資料1）</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>各委員から意見はないか。</p> <p>（特になし）</p> <p>（2）協議事項（資料2、資料3）</p> <p>①事業実施主体について</p> <p>②事業全体スケジュールについて</p> <p>③共同処理事務について</p> <p>④経費の負担割合について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>協議事項については、事前に両市へ検討を依頼したので、それぞれの方針について発表をお願いしたい。</p> <p>まず、行田市から発表をお願いしたい。</p> <p>事業実施主体については、新たな一部事務組合の設立を考えている。</p> <p>事業全体スケジュールについては、令和9年度中の新施設完成及び稼働を考えている。</p> <p>共同処理事務についてであるが、現在、ごみ処理基本計画の改定作業を行っており、資源リサイクル審議会に諮問し審議中である。答申内容によっては、方針が変更となる可能性があることを前置きさせていただく。</p> <p>分別区分については、現在の区分を基本とし、ペットボトル及び施設へ直接搬入される剪定枝を資源化、プラスチックごみを一部不燃ごみから可燃ごみに変更することを考えている。</p> <p>収集運搬体制については、各市での対応を考えている。</p>

<p>石井議長 小磯委員</p>	<p>整備する施設については、資源物を含めたし尿を除く一般廃棄物全般を考えている。</p> <p>経費の負担割合については、現在、可燃ごみの広域処理を行っており、そちらの状況を踏まえ、均等割30%、人口割70%とし、稼働翌年度から人口割をごみ量割に読み替える。なお、用地取得費及び周辺環境整備費は、施設整備費に含めることを考えている。</p> <p>続いて、羽生市に発表をお願いしたい。</p> <p>事業実施主体については、行田市と羽生市で新たな一部事務組合の設立を考えている。</p> <p>事業全体スケジュールについては、最短期間である令和9年度中に新施設の完成及び稼働を目指したいと考えている。</p> <p>共同処理事務についてであるが、行田市同様、ごみ処理基本計画の見直しを行う予定であることを前提に述べさせていただく。</p> <p>分別区分については、既存の区分を基本に、ごみ減量のための新たな資源化区分も視野に入れて検討を行い、プラスチックごみについては、今後の具体的な国の方針を注視していく考えである。</p> <p>収集運搬体制については、各市で独自対応を考えている。</p> <p>整備する施設については、可燃、不燃、粗大ごみ処理施設を考えている。また、ごみ減量化や資源化のための新たな施設の共同整備について検討中である。</p> <p>経費の負担割合については、施設整備費は、均等割10%、人口割90%とし、稼働翌年度からは、均等割10%、ごみ量割90%とする。なお、用地取得費及び周辺環境整備費は、施設整備費に含めることを考えている。</p>
<p>石井議長 河田委員</p>	<p>各委員から意見はないか。</p> <p>羽生市としても大変重要な事業であると認識しており、事業スケジュールについては、令和9年度の稼働を目指したいと強く考えている。</p> <p>経費の負担割合については、両市の方針が異なるが、合意に向け前向きに話し合いたい。</p>

石井議長	<p>河田委員から力強い言葉をいただいた。両市民のために一緒に頑張っていきたい。</p> <p>他に意見はないか。</p>
甲山委員	<p>整備する施設について、具体的な施設は、勉強会で検討した内容と同様でよいか。例えば、食品廃棄物（生ごみ）のリサイクル施設等は考えていないのか。</p>
江森委員	<p>勉強会で検討した内容と同様である。なお、繰返しになるが、資源リサイクル審議会の答申によっては、方針が変更となる可能性があることを申し添える。</p> <p>生ごみのリサイクルについては、本年度から生ごみ処理機器の購入補助制度を開始しており、施設整備をする考えはない。</p>
石川委員	<p>余熱利用について、本市としては、事業費の縮減を図る観点から、過度な施設整備を行わず、売電を基本に考えている。余熱利用について、どのように考えているのか。</p>
小磯委員	<p>ごみ処理施設整備については、なるべく経費を抑えたいと考えている。余熱利用については、行田市と同様に売電を基本に考えている。</p>
甲山委員	<p>周辺環境整備について、どのように考えているのか。</p> <p>また、この事業は小針地区住民の理解なしでは進められないと考えている。地元の意見等について教えてほしい。</p>
江森委員	<p>周辺環境整備については、事業実施主体確定後、事業スケジュールを示した上で、地元からの意見を伺いながら進めていきたい。</p> <p>地元の状況については、3月16日の基本合意締結後、石井市長及び事務局で複数回説明に伺った。4月11日、小針地区自治会総会で説明を行い、6月19日、太田地区住民を対象とした説明会を午前、午後に分け2回実施した。周辺環境に対する配慮をしてほしい等の意見はあったが、施設整備に対する直接的な反対意見はなかった。</p>
甲山委員	<p>改めて地元住民及び行田市民の協力に対し、感謝申し上げる。</p>
石井議長	<p>他に意見はないか。</p>
各委員	<p>（特になし）</p>

石井議長 事務局	<p>両市の方針について、事務局で整理をお願いしたい。</p> <p>事業実施主体については、「新たな一部事務組合の設立」で両市の方針が一致している。</p> <p>事業全体スケジュールについては、「令和9年度中の新施設完成及び稼働」で両市の方針が一致している。</p> <p>共同処理事務の収集運搬については、「各市で独自対応」で両市の方針が一致しているが、分別区分及び整備する施設については、引続き協議が必要である。</p> <p>経費の費用負担割合については、分担の考え方（施設整備費は均等割と人口割、運営管理費は均等割とごみ量割）は両市の方針が一致しているが、負担割合は引続き協議が必要である。</p>
石井議長	事業実施主体と事業全体スケジュールについては、決定事項としてよいか。
各委員	（異議なし）
石井議長	共同処理事務と経費の負担割合については、いかがか。
石川委員	羽生市の方針を踏まえ、再度検討する必要があるため、継続審議としたい。
甲山委員	同じく持ち帰って検討するため、継続審議としたい。
石井議長	共同処理事務と経費の負担割合については、継続審議としてよいか。
各委員	（異議なし）
石井議長	他に意見はないか。
各委員	（特になし）
石井議長	これからも両市対等な立場で、できる限り情報を公開し、市民の理解を得ながら事業を進めていきたいと考えている。よろしくお願いしたい。
事務局	<p>5. その他</p> <p>第2回協議会について、8月下旬の開催を予定している。</p>
	<p>6. 閉会</p>